

特許紹介

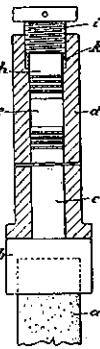
第 28 卷 第 10 號 昭和 12 年 10 月

原動機として驅動せらるゝ打杭装置

(特許第 121109 號
特許權者 (發明者) ドイツチエ、エレクトロマシーネンウ
ント、モートルレン、パウ、アクチエンゲゼルシャフト)

コンクリート杭を打込む際に杭は撞槌の烈しい衝撃に依つて損傷せられる事が屢々ある。此の發明は瓦斯又は蒸氣の圧力に依つて驅動せられる打杭装置に於て被上の損傷を避けんが爲に考案したものであつて、即ち撞槌の全跳躍高度を利用する際に落下仕事の半分よりも多きが圧縮する爲に使用せられるやうな大きさに圧縮を調節せられるものであつて、杭打仕事の大部分は撞槌が杭に衝突する以前に杭の上に常に載架せる脚子 (C) に依つて杭に傳へられるのである (図-1.)。

図-1.



電弧熔接方法の改良

(特許第 121160 號
特許權者 神戸製鋼所)

此の發明は、固態炭酸を使用し、之に依つて熔接部に冷却作用を施しつゝ其の氣化せる炭酸瓦斯圈内に於て電弧熔接を行ふ方法であつて、之に依り熔接部の過熱防止並に急冷却を容易ならしめると共に熔接部の酸化及窒化を防止し且電弧を安定ならしめんとするものである。

軽量鋪裝用ブロック

(特許第 121203 號
特許權者 (發明者) 淺野貞次郎、堀俊三)

此の發明は軽量で而も耐久耐摩耗性の強大なる鋪裝用ブロックを目的として考案したもので、即ち表面層としてセメント類 40~50 分、生石灰末 40~50 分、細洗川砂 10~20 分より成る混合物を用ひ、裏面層には石炭焚滓粉 14~16 分、硅藻土 2~5 分、消石灰 1~2 分、セメント類 1~2 分より成る混合物を使用して此等を水分の存在に於て一体に圧搾成型して作つたものである。

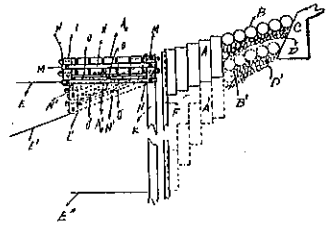
短柱鋼柱工

(特許第 121236 號
特許權者 (發明者) 北村多賀太郎)

此の發明は特許第 116303 號 (本誌第 22 卷第 10 號

本欄参照) の改良發明であつて、コンクリートで作製した円形又は多角形の適宜の短柱を直立及横臥せしめて直立部 (A) 及横臥部 (B) を構成し、直立部の前方に止杭 (F) を打込み、更に其の前方に適宜の間隔に 2 本の親杭 (K) を打ち建て、尙其の前方に適宜間隔に 2 本の親柱 (L) を配置し、親杭及親柱を四隅の柱材とし、四方に上下 2 段の横貫 (N) をポール結合に依つて枠形とし、下部 1 對の横貫 (N) の上部に根太及敷成 (O) を架置し、其の上部に枠内直立塊 (A₀) を配列して可動片枠を構成せしめた鎮重工であつて、可動片枠の構成に依り止杭内部にある直立部及横臥部の極度垂下の弊を補足保護するものである (図-2.)。

図-2.



(附) 登録實用新案

- 水道用濾過器 (第 230184 號 實用新案權者 荒川盛治 公告 12 年 第 3264 號)
- 不凍水道栓 (第 230081 號 實用新案權者 株式會社根尾工場 公告 12 年 第 3145 號)
- コンクリート管接合機 (第 230500 號 實用新案權者 帝國ニューヒューム鋼管株式會社 公告 12 年 第 1476 號)
- 不凍消火栓 (第 230615 號 實用新案權者 富田廣吉 公告 12 年 第 4519 號)
- 軟土質地盤下の岩盤に堅坑を掘鑿する場合の圧氣潜函工法用潜函 (第 530619 號 實用新案權者 白石多士良 公告 12 年 第 3620 號)
- 運河船渠等の構築に使用せらるゝ大型潜函 (第 230023 號 實用新案權者 白石多士良 1 名 公告 12 年 第 3621 號)
- コンクリート管 (第 530624 號 實用新案權者 大同コンクリート工業株式會社 公告 12 年 第 3696 號)
- 鉄筋コンクリート浮棧橋 (第 230854 號 實用新案權者 均井眞事 公告 12 年 第 4907 號)

(吉 藤 幸 朔)